

平成28年度 経営発達支援事業 モニタリング検討委員会議事録

1. 評価機関名 音更町商工会 モニタリング検討委員会
2. 開催日時 平成29年3月21日(火) 16時00分～17時00分
3. 開催場所 プロspa6 2階ホール

4. 出席者名

(1) 外部有識者

吉田 寛	音更町経済部商工観光課 商工労政係長
津久井 寛	帯広大谷短期大学地域教養学科 教授
木野村 英明	木野村英明法律事務所 弁護士
網野 征樹	網野中小企業診断士事務所 中小企業診断士
本庄 雅人	本庄雅人税理士事務所 税理士
星 圭司	北海道商工会連合会 十勝支所長

(2) 音更町商工会

山本 英明	副会長・モニタリング検討委員会委員長
細海 英隆	理事・総務広報委員長
坂井 寛明	事務局長
角谷 稔	経営指導員
畔木 巧	経営指導員
上野 俊介	補助員

5. 議事経過の要領及びその結果

定刻となり、事務局の坂井事務局長が開会を宣し、山本英明委員長が開会挨拶を行った後、議事に入った。

(1) 平成28年度経営発達支援事業の実施状況報告及び事業評価について

坂井事務局長から、認定経営発達支援計画におけるPDCAについての概要説明と、本委員会により事業の評価・見直しを行っていく仕組みについての説明があった。

続いて畔木経営指導員が、経営発達支援事業の実施における事業評価の趣旨を説明し、資料3の評価シートに基づき下記の通り説明を行った。

I 地域経済動向の調査に関すること【自己評価：A】

①統計資料や国勢調査による人口動向等の調査分析

【実施内容】地域の現状を把握するために音更町における人口の増減状況や年齢階層構成等を分析した。

【実施効果】分析結果を小規模事業者に提供することにより、今後の経

営課題が明確化され、これに基づき策定する事業計画の基礎的な情報として活用し、売上高や利益増加のための経営力強化が図れた。

【実施状況】 目標数値：1回 実績数値：1回

②経済センサスや統計資料等による業種の動向調査

【実施内容】 地域産業の状況を把握するために音更町における業種ごとの事業所数と従業員数や、工業・商業・農業の現状を分析した。

【実施効果】 分析結果を小規模事業者に提供することにより、今後の市場規模が明確化され、これに基づき策定する事業計画の基礎的な情報として今後の事業展開に向けた活用が図れた。

【実施状況】 目標数値：1回 実績数値：1回

③地域内事業所の経営内容調査

【実施内容】 町内企業の経営動向を把握するために商工会員及び非会員事業所に対してアンケート調査を実施した。

【実施効果】 業種ごとにおける最近の経営状況と今後の予測や経営上の課題が明確化され、今後の事業経営においての有効な資料となった。

【実施状況】 目標数値：1回 実績数値：1回

Ⅱ 経営状況の分析に関すること【自己評価：B】

①小規模事業者の多面的な経営分析

【実施内容】 小規模事業者の財務情報のデータベース化と財務状況等の経営分析を実施した。

【実施効果】 3会計期間の経営指標による経営分析の結果を小規模事業者に提供することにより、財務状況における自社の現状と課題が明確化され、これに基づき策定する事業計画の基礎的な情報として活用が図れた。

【実施状況】 目標数値：5件 実績数値：10件

②巡回訪問による経営状況の把握

【実施内容】 巡回による経営状況の確認を行い、経営課題の改善に向けた専門家の派遣支援や各種施策等の利用による支援を実施

した。

【実施効果】 専門家派遣支援の実施により課題解決に向けた方向性が明確化され経営改善が図れた。また、各種施策の利用によって経営課題が解決し、来客数の増加により売上・利益の向上が図れた。

【実施状況】 目標数値：10件 実績数値：33件

③経営課題の見える化に対する取組

【実施内容】 経営分析の客観的なデータ等を小規模事業者に示し、事業者自らが自社の経営状況や経営課題について把握した。

【実施効果】 客観的なデータによる経営分析が行われたことにより、事業者自身が自社の現状と課題を把握でき、これに基づき策定する事業計画の基礎的な情報として活用が図れた。

【実施状況】 目標数値：10件 実績数値：30件

④タブレットを活用した簡易財務分析

【実施内容】 未実施

【実施効果】 計画当初はタブレットを活用した簡易財務分析を予定していたが、実際に小規模事業者に対して説明する際には複数期間での本格的な経営分析の方がわかりやすく結果も把握しやすいため、今後においてもタブレットは使用せずに、本格的な経営分析の実施により経営課題の解決を図っていくこととする。

【実施状況】 目標数値：5件 実績数値：—

⑤専門家派遣等による企業支援

【実施内容】 新たな事業展開に向けた企業支援や販路開拓、事業承継等の専門的な支援において専門家の派遣支援を実施した。

【実施効果】 専門家の派遣支援により、今後の持続的発展に向けた事業展開が明確化され、事業計画策定の重要な指針となった。

【実施状況】 目標数値：8件 実績数値：6件

Ⅲ事業計画策定支援に関すること【自己評価：A】

①持続的発展支援

【実施内容】 販路開拓等に向けた事業計画の策定において、事業者の思いやアイデア等に加えて伴走型の助言を行い、持続的発展のための事業計画策定支援を実施した。

【実施効果】 事業者の思いやアイデア等に対しての客観的な意見や助言により、事業計画内容のブラッシュアップが図れた。

【実施状況】 目標数値：25件 実績数値：65件

②セミナー等の開催

【実施内容】 販路開拓に向けた事業計画策定セミナー及び個別相談会を開催するとともに、新規創業予定者のための創業支援セミナーを開催した。また、経済産業省による補助金等の各種施策説明会の開催と持続化補助金申請の個別相談会を開催した。

【実施効果】 事業計画策定セミナー参加者の内、2名の事業者が販路開拓に向けた事業計画書を作成することになった。創業支援セミナーにおいては、今後の創業にあたり事業計画の重要性や各種施策、専門家派遣制度についての周知が図れた。

【実施状況】 目標数値：5回 実績数値：9回

③支援施策の活用支援

【実施内容】 「小規模事業者持続化補助金」や音更町の「空き店舗活用事業補助金」の申請に伴う事業計画策定支援や手続き方法等の説明支援を実施した。

【実施効果】 申請手続の流れを理解いただき事業計画内容のブラッシュアップが図れたが、今年度の申請件数は大幅に減少した。

【実施状況】 目標数値：15件 実績数値：14件

IV事業計画策定後の実施支援に関すること【自己評価：B】

①PDCAサイクルの確立支援

【実施内容】 事業計画内容と実際の経営状況を比較検討し、今後に向けた対応策についての助言指導を実施した。

【実施効果】 経営状況の比較検討により経営課題が明確化され、今後の対応について共通の認識を持つことができた。

【実施状況】 目標数値：20件 実績数値：13件

②事業計画実施に伴う金融支援

【実施内容】日本政策金融公庫のマル経資金や音更町・北海道の各融資制度の斡旋及び情報提供による金融支援を実施した。

【実施効果】各種金融制度の斡旋・情報提供により円滑な資金繰りが図れた。

【実施状況】目標数値：120件 実績数値：104件

③継続的なフォローアップの実施

【実施内容】創業や販路開拓に向けた事業計画の策定事業者に対して、巡回及び窓口での聞き取りによる状況確認を実施した。

【実施効果】状況確認を行ったことにより経営状況の情報共有が図れ、持続的発展に向けた改善策の提案ができた。

【実施状況】目標数値：80回 実績数値：70回

④創業者の認知度向上支援

【実施内容】広報誌「商工おとふけ」での記事掲載や会員交流事業への参加推進により、新規創業者を含む新会員の認知度が向上した。

【実施効果】認知度の向上により、今後の事業における取引機会の拡大につながることを期待できる。

【実施状況】目標数値：5回 実績数値：7回

V 需要動向調査に関すること【自己評価：C】

①消費者ニーズの把握

【実施内容】未実施

【実施効果】平成28年度は補助事業に計上できず実施できなかったが平成29年度においては補助事業に計上し実施していく予定であります。

【実施状況】目標数値：1回 実績数値：—

②市場環境の調査分析

【実施内容】未実施

【実施効果】平成28年度は補助事業に計上できず実施できなかったが

平成29年度においては補助事業に計上し実施していく予定であります。

【実施状況】 目標数値：1回 実績数値：—

③ イベント等でのニーズ調査

【実施内容】 メロディーラインカフェや音更夏まつり、音楽フェスタの開催時に来場者に対するアンケート調査を行い、町民や観光客のニーズを把握した。

【実施効果】 調査したニーズの情報を今後提供する商品や商品開発等のためのツールとして活用が図れた。

【実施状況】 目標数値：3回 実績数値：4回

④ 小規模事業者の経営力向上への取組

【実施内容】 未実施

【実施効果】 消費者のニーズ調査及び市場環境の調査分析の実施後に小規模事業者に対して情報提供を実施する。

【実施状況】 目標数値：2回 実績数値：—

VI 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【自己評価：B】

① 即売会開催による販売促進

【実施内容】 メロディーラインカフェの開催時において、販売促進のための即売会を開催した。

【実施効果】 即売会の開催により、消費者や観光客に対し広く商品を紹介することができ、今後の来店機会や店舗の認知度向上が図れた。

【実施状況】 目標数値：4回 実績数値：3回

② ITツールを活用した販売促進

【実施内容】 未実施

【実施効果】 H29年度は補助事業も活用しながらセミナーを開催して、小規模事業者の販売促進に努めていきます。

【実施状況】 目標数値：5件 実績数値：—

③展示会・商談会への出展支援

【実施内容】北海道商工会連合会主催の地域特産品等販路開拓支援事業において個別商談会への出展支援を実施した。

【実施効果】流通商社バイヤーから今後の販路拡大に向けたアドバイスをいただくことができた。

【実施状況】目標数値：3件 実績数値：2件

④飲食店への販売支援

【実施内容】飲食店と宿泊施設や体験施設等が連動した統一パンフレットを作成・配布した。

【実施効果】観光客の多く集まる宿泊施設や道の駅等に配布したことにより、各飲食店の認知度向上と利用促進が期待される。

【実施状況】目標数値：50件 実績数値：51件

VII地域経済の活性化に資する取組【自己評価：B】

①メロディーラインカフェの開催

【実施内容】農業者と飲食業・宿泊業・製造業・小売業者が連携を図り地域の特産物と農業体験等の各種メニューである地域資源を消費者や観光客に対して提供した。

【実施効果】地域の特産物と農業体験等の各種メニューである地域資源を提供し、「食べる、遊ぶ、体験する、観る、泊まる」を連動させることにより、各個店の新たな利用客の拡大が図られ売上の増加につながった。

【実施状況】目標数値：4回 実績数値：3回

②音楽フェスタの開催

【実施内容】十勝川温泉の新たな観光拠点である「ガーデンスパ十勝川温泉」のオープンに合わせて音楽イベントを開催した。

【実施効果】消費拡大のために統一パンフレットの配布によるPRや、音更百景の紹介によるPRにより、飲食店等や町内の景勝地の認知度向上が図れた。

【実施状況】目標数値：2回 実績数値：2回

③仕事と子育ての両立支援事業の推進

【実施内容】 未実施

【実施効果】 福利厚生リサーチ委員会の中で検討したが、保育事業を実施する会員事業所も増えてきており、商工会が実施することにより民業圧迫の恐れも出てきたため、時期尚早として当面は実施しないことになった。

【実施状況】 目標数値：— 実績数値：—

Ⅷ他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること 【自己評価：A】

①関係機関との情報交換

【実施内容】 十勝管内経営指導員研修会（春季・冬季）での全体会議や日本政策金融公庫国民生活事業とのマル経協議会、懇談会での情報交換を行った。また、町内金融機関との金融懇談会や北海道中小企業総合支援センター、中小企業基盤整備機構との情報交換、派遣税理士や中小企業診断士との情報交換を実施した。

【実施効果】 他の支援機関の取り組み等を情報交換することにより、支援ノウハウの向上を図ることができた。

【実施状況】 目標数値：8回 実績数値：14回

Ⅸ経営指導員等の資質向上等に関すること【自己評価：B】

①研修等への参加

【実施内容】 経営指導員は、中小企業大学校旭川校での専門研修へ参加し、経営発達支援事業の取組手法や新規創業・開業支援の手法について資質向上を図るとともに、十勝管内経営指導員研修会や消費税転嫁対策指導員研修会の出席により研鑽を図った。また、北海道商工会連合会の経営指導員研修会では経営支援事例を研修することで支援ノウハウの習得が図れた。補助員は、中小企業大学校旭川校での専門研修へ参加し、法人税務の相談対応の手法について資質向上を図った。記帳専任職員は、北海道商工会連合会の専門研修会及び全道ブロック別商工会研修会や情報化支援システム研修会を受講し、資質の向上を図った。

【実施効果】 研修会等への参加により、支援ノウハウの向上を図ることができた。

【実施状況】 目標数値：11回 実績数値：17回

②職員会議の実施

【実施内容】業務や支援内容等の情報共有を図るとともに、今後の業務予定の確認を行っている。

【実施効果】職員同士で業務内容のチェックができ、間違いなどの未然防止が図れている。

【実施状況】目標数値：12回　実績数値：6回

③専門家派遣事業への同行

【実施内容】専門家の派遣支援に同行し、支援の現場に立ち会うことで資質の向上が図れた。

【実施効果】専門的な支援内容等においての、指導や助言方法を間近で見聞きすることにより、今後の支援ノウハウの向上が図れた。

【実施状況】目標数値：5回　実績数値：6回

X事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること【自己評価：A】

①モニタリング検討委員会の開催

【実施内容】経営発達支援計画の説明を行い、昨年度の実施状況と実績報告により、検討委員より評価・見直しについての提言をいただき、PDCAの取組を実施した。

【実施効果】初年度の取組における評価・検証の方法等も含めて提言をいただくことができ、今後の事業実施における効果を実感した。

【実施状況】目標数値：2回　実績数値：2回

坂井事務局長がこの説明を受けて、今回取り組んだ事業及び事業評価について、出席委員に対し意見等を求めた。

網野征樹　—　評価の基準については全国連と統一したものなのかを確認する発言があった。

事務局　—　今回の評価基準は連合会のモデルに沿って行っている旨を説明した。

- 津久井寛 — タブレット端末については今後も継続して使用していくのかとの発言があった。
- 事務局 — 今回の使用をもって返却する旨を説明した。
- 星 圭司 — 簡易分析よりも詳細な分析を行っていくほうが事業者にとっても有効に活用できる旨の発言があった。また、実施出来なかった項目についても、経緯や今後の課題・対応等を記載した方が良い旨の発言があった。
- 網野征樹 — 小規模事業者にとってもタブレット端末で分析結果を見せられるよりも紙ベースで示された方がわかりやすいとの発言があった。
- 吉田 寛 — 目標数値と同数でも目標達成していればAとなっているが、子育て支援事業は今後も実施しないのであれば実績は0なのでDとなるのかとの発言があった。
- 津久井寛 — 子育て支援事業は今後もやらないのであれば、D評価よりは「一」にした方が良くと思う旨の発言があった。
- 事務局 — 実施をしない事項については、「一」に変更する旨を説明した。

坂井事務局長は、出席者に対して他に意見等がないかを諮ったところ、特になく、出席者全員異議なく承認した。

(2) 平成 29 年度経営発達支援事業の実施について

坂井事務局長から、平成 29 年度経営発達支援計画における事業の実施について説明があり、畔木経営指導員が、平成 29 年度伴走型小規模事業者支援推進事業を活用した経営発達支援事業の実施について、資料 7 の伴走型小規模事業者支援推進事業（事業計画書及び支出内訳書）に基づき説明を行った。

坂井事務局長はその説明を受けて、出席者に対し意見等を求めたところ、特になく、出席者全員異議なく承認した。

その他に、事務局は意見等を求めたが特に発言はなく、モニタリング検討委員会を終了し、17 時 00 分に閉会した。